

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第6部門第3区分  
 【発行日】平成17年7月28日(2005.7.28)

【公表番号】特表2004-527043(P2004-527043A)

【公表日】平成16年9月2日(2004.9.2)

【年通号数】公開・登録公報2004-034

【出願番号】特願2002-577398(P2002-577398)

【国際特許分類第7版】

G 0 6 T 3/40

G 0 6 T 5/20

H 0 4 N 1/393

H 0 4 N 1/409

【F I】

G 0 6 T 3/40 A

G 0 6 T 5/20 B

H 0 4 N 1/393

H 0 4 N 1/40 1 0 1 D

【手続補正書】

【提出日】平成15年12月5日(2003.12.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

画像に対し、シャープニング関数を適用するステップと、  
 表示装置の画像表示に関連する拡大率に基づいて上記シャープニング関数をコントロールするステップとを、有する方法。

【請求項2】

ソフトプルーフィングシステムのための複数の動作モードから1つを選択するステップと、  
 前記選択された動作モードに基づいて表示装置により表示される画像のためのスケーリング関数を選択するステップと、

前記選択された動作モードに基づいて前記画像のためにシャープニング関数を選択するステップとを、  
 更に有する請求項1記載の方法。

【請求項3】

前記動作モードの1つが、ソフトプルーフィングシステムが固定拡大率を持つ表示装置上の画像を提供する固定拡大率モードであり、スケーリング関数を選択するステップが、

(a) 前記選択された動作モードが固定拡大率モードである場合に、最適スケーリング関数を選択するステップと、(b) 前記選択された動作モードが固定拡大率モードである時、拡大率に依存しない固定シャープニング関数を選択するステップとのうちの1つを含み、

前記動作モードの1つが、ソフトプルーフィングシステムが可変拡大率を持つ表示装置上の画像を提供する、可変拡大率モードであり、スケーリング関数を選択するステップが、

(a) 前記選択された動作モードが可変拡大率モードである時、双3次補間関数とニア

レストネイバー補間関数の内の 1 つを含む一般スケーリング関数を選択するステップと、  
( b ) 前記選択された動作モードが可変拡大率モードである時、拡大率に基づくシャープニングレベルを調整することにより選択される、前記拡大率に依存するダイナミックシャープニング関数を選択するステップとのうちの 1 つを含み、

複数操作モードの 1 つが、ソフトブルーフィングシステムが可変拡大率を持つ表示装置上の画像を表示する最適モードであり、

スケーリング関数を選択するステップが、選択された操作モードが最適モードである時に、最適スケーリング関数を選択するステップを含み、シャープニング関数を選択するステップは、選択された動作モードが最適モードである時、拡大率に依存するダイナミックシャープニング関数を選択するステップを含むことを特徴とする、請求項 2 記載の方法。

【請求項 4】

カラー画像表示を行う表示装置と、

前記画像にシャープニング関数を適用し、前記画像に関連した拡大率に基づいてシャープニング関数をコントロールするプロセッサと、を有する、請求項 1 - 3 のいずれか一項記載の方法を実行するためのシステム。

【請求項 5】

プログラム可能なコンピュータに、請求項 1 - 3 のいずれか一項記載の方法を実行させるための命令を含む、コンピュータ読取り可能な媒体。